

地域再生とまちづくり

各都市が目指すものは

＜第33回＞

きれいな水とワサビ田

長野県のほぼ中央部・中信地方に所在する5町村(豊科町、穂高町、明科町、堀金村、三郷村)が05年10月に合併して、安曇野市は誕生した。



①大王わさび農場 ②国営アルプスあづみの公園



な眺望や素朴で美しい田園風景、きれいな水やワサビ田のほか、11年に放映されたNHK連続テレビ小説「おひさま」の影響で観光客数が増加。12年には長野自動車道豊科インターチェンジが「安曇野」に改称したことで知名度とイメージは定着しつつある。

安曇野市と大町市・松川村では16年6月18日、国営アル

プスあづみの公園が全園開園した。同公園は長野自動車道安曇野インターから約7kmにある市内堀金・穂高地区と、約25kmに位置する大町・松川地区に分けられる。

大町・松川地区では自然体験、林間レクリエーションなど5つのゾーンが、堀金・穂高地区では田園文化、里山文化ゾーンがあり、ゾーンごとに特徴が異なる。



穂高温泉郷・八面大王足湯

長野県安曇野市・無秩序な開発を防ぐガイドライン

現代人のオアシスに

ガイドラインでは自然的、社会的条件を踏まえて市を6つの区域

き出しているように見える。13年に行った観光アンケートによると、市への旅行目的は「自然・風景を楽しむ」「温泉」が6割超と、観光客の多くは自然に親しむことを目的にしているようだ。安曇野市はこの豊かな自然や風景を守るため、無秩序な開発を防止しようと市独自の土地利用ガイド

自然の魅力を最大限に 建築には厳しい条件

(拠点市街区域、田園居住区域など)に分類した。地域の大半が分類されている田園環境区域、特に基本集落外(10年時点で概ね10戸以上の宅地が連続している区域以外)に分類された場合の更地(雑種地など)では、厳しい条件を満たさない限り建物が建築できない規制となっている。

過去からの自然・風景を維持し続け、開発に頼らない町づくりを選択した安曇野市は、急ぎすぎる現代人のオアシスとなっていくのかもしれない。

(日本不動産研究所松本支所、不動産鑑定士・郷間智史)